

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【公開番号】特開2018-87640(P2018-87640A)
 【公開日】平成30年6月7日(2018.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報2018-021
 【出願番号】特願2018-25138(P2018-25138)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 33/76 (2006.01)
F 1 6 C 19/18 (2006.01)
F 1 6 C 41/00 (2006.01)
F 1 6 J 15/10 (2006.01)
F 1 6 J 15/12 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/76 A
 F 1 6 C 19/18
 F 1 6 C 41/00
 F 1 6 J 15/10 N
 F 1 6 J 15/12 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月28日(2019.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

内周に複列の外側転走面が一体に形成された外方部材と、
 一端部に車輪を取り付けるための車輪取り付けフランジを一体に有し、外周の他端部に軸方向に延びる小径段部が形成されたハブ輪、およびこのハブ輪の小径段部に圧入された少なくとも一つの内輪からなり、外周に前記複列の外側転走面に対向する複列の内側転走面が形成された内方部材と、

この内方部材と前記外方部材とのそれぞれの転走面間に転動自在に收容された複列の転動体と、

前記外方部材のインナー側開口部の内周に嵌合され、外周面に円環状のシール部材が設けられる円筒状の保護カバーと、

前記外方部材のインナー側開口部の内周であって前記保護カバーよりも外側に嵌合される円筒状のセンサホルダと、を備えた車輪用軸受装置において、

前記外方部材のインナー側開口部の内周に、インナー側端から軸方向アウター側に向かって順に、前記センサホルダが嵌合されるセンサホルダ嵌合部と、前記保護カバーのシール部材が接触するシール部と、前記保護カバーが嵌合される保護カバー嵌合部とが形成され、

前記保護カバー嵌合部の軸方向長さは、前記センサホルダ嵌合部の軸方向長さよりも短い車輪用軸受装置。